

兵庫教育大学 教職大学院
『教育実践高度化専攻』

(教育政策リーダーコース)

実習基本計画

令和8年4月

目 次

実習の基本計画（教育政策リーダーコース）

1 実習の目的	1
2 実習科目	1
3 実習校	1
4 科目別の実習内容，指導体制，評価方法等	2
5 その他（実習資料の様式）	7
教育政策リーダーコースにおけるカリキュラム配置モデル	24

実習の基本計画（教育政策リーダーコース）

1 実習の目的

教育政策トップリーダーインターンシップでは、海外の教育行政機関や自自治体、他自治体の教育行政機関等でのインターンシップを通して、共通基礎科目や専門科目での学修の実地での検証を行い、教育政策トップリーダーとしての力量を高めることを目的とする。

2 実習科目

実習科目	単位数（時間数）	配当年次	実施期間
教育政策トップリーダーインターンシップⅠ （海外教育行政機関）	2 単位（60時間）	1 年次	通年
教育政策トップリーダーインターンシップⅡ （自自治体行政機関）	2 単位（60時間）	2 年次	通年
教育政策トップリーダーインターンシップⅢ （自自治体教育機関）	2 単位（60時間）	2 年次	通年
教育政策トップリーダーインターンシップⅣ （他自治体）	4 単位（120時間）	2 年次	通年
教育政策トップリーダーインターンシップⅤ （自自治体等発展）	2 単位（60時間）	2 年次	通年

3 実習校

実習科目	実習場所
教育政策トップリーダーインターンシップⅠ（海外教育行政機関）	海外の教育行政機関等
教育政策トップリーダーインターンシップⅡ（自自治体行政機関）	自自治体の教育行政機関または一般行政機関等
教育政策トップリーダーインターンシップⅢ（自自治体教育機関）	自自治体の教育機関等
教育政策トップリーダーインターンシップⅣ（他自治体）	他自治体の行政機関または教育機関等
教育政策トップリーダーインターンシップⅤ（自自治体等発展）	自自治体の行政機関または教育機関等

4 科目別の実習内容, 指導体制, 評価方法等

教育政策トップリーダーインターンシップ I (海外教育行政機関)

(実習目的)

教育政策・行政のトップリーダーに求められる能力・力量を向上させ, また国際的な知見を大きくするために, 海外の教育行政機関, 教育機関の制度, 組織, 運営を見聞, 体験させることを目的とする。

もって受講生の日本の教育, 教育行政に対する見識を外国との比較によって相対化し, トップリーダーとしての課題解決力の拡充を図る。

(実習内容・指導計画・体制)

- ・ インターンシップの時期・内容等の全体に係る計画については, 大学指導教員が実習先の海外の教育行政機関等と調整の上, 策定する。
- ・ インターンシップ期間は大学指導教員が引率を行う。
- ・ 事前指導においては, 受講者各自でインターンシップ課題を設定し, 訪問国の教育制度, 教育行政システムについて文献や資料等をもとに, 調査項目を作成する。
- ・ インターンシップにおいては, 1 週間程度, 海外の大学, 教育委員会, 小中学校等を訪問する。各機関において, そこでのリーダーの業務参観・分析, 意見交換・交流を行う (渡航・滞在費用は自己負担)。
- ・ 事後指導においては, 受講生各自が設定したインターンシップ課題の実地における達成についてレポートを作成する。受講生各自の作成した報告書を発表し, 相互に検討し, 日本の教育, 教育行政の特質, 問題点, 改革改善課題を検討する。ふりかえり, まとめはインターンシップ先へフィードバックする。
- ・ 事前事後学修は原則として 30 時間実施する。
- ・ テキスト・教材・参考資料等は特に指定しない。必要な資料等は適宜配付する。
- ・ 「比較教育政策論」と同時に登録することはできない。

(評価方法)

大学指導教員が, 実習の活動状況, 実習計画, 実習日誌, インターンシップ課題の達成状況, 事前事後学修の状況の評価を行い, 最終的には S から F の 5 段階で総合的に評価する。

S (90 点～100 点), A (80 点～89 点), B (70 点～79 点), C (60 点～69 点), F (59 点以下)とし, S から C までを合格, F を不合格とする。

教育政策トップリーダーインターンシップⅡ（自自治体行政機関）

（実習目的）

自自治体行政機関において、共通基礎科目並びに専門科目で学修した事項を受講生のキャリアに応じ、実地で検証し、教育政策トップリーダーとしての力量を高める。

（実習内容・指導計画・体制）

- ・ インターンシップの時期・内容は受講者のキャリアや関心に応じて、オリエンテーション時に相談し決定する。
- ・ 事前指導においては、自自治体行政機関の組織や教育大綱・計画や施策について情報収集を行い、教育政策上の課題を整理するとともに、インターンシップ課題を設定する。
- ・ インターンシップにおいては、インターンシップ課題をもとに行政実務に当たり、「マネジメント特論」または「リーダーシップ特論」で学修した実践的応用力をもとに、施策や事業等の改善に取り組む。
- ・ 1日7.5時間の実習を4日間実施することを原則とするが、インターンシップ先の実情等に応じて実施する。
- ・ 事後指導においては、インターンシップ先での取組をふりかえり、まとめを行う。ふりかえり、まとめはインターンシップ先へフィードバックする。
- ・ 事前事後学修は原則として30時間実施する。
- ・ 「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ・Ⅱ」及び「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ・Ⅱ」のテキストを使用する。
- ・ その他インターンシップ、協議等に有用な参考資料、文献等はその都度提示する。

（評価方法）

インターンシップ先実習指導員（メンター）による成績評価と大学指導教員の評価を合わせ、最終的には大学指導教員が、SからFの5段階で総合的に評価する。

S（90点～100点）、A（80点～89点）、B（70点～79点）、C（60点～69点）、F（59点以下）とし、SからCまでを合格、Fを不合格とする。

教育政策トップリーダーインターンシップⅢ（自自治体教育機関）

（実習目的）

自自治体教育機関において、共通基礎科目並びに専門科目で学修した事項を受講生のキャリアに応じ、実地で検証し、教育政策トップリーダーとしての力量を高める。

（実習内容・指導計画・体制）

- ・ インターンシップの時期・内容は受講者のキャリアや関心に応じて、オリエンテーション時に相談し決定する。
- ・ 事前指導においては、自自治体教育機関の学校教育目標や重点事項、特性や実態等につ

いて情報収集を行い、教育政策上の課題を整理するとともに、インターンシップ課題を設定する。

- ・ インターンシップにおいては、「マネジメント特論」または「リーダーシップ特論」で学修した実践的応用力をもとに、施策や事業等の改善に取り組む。
- ・ 1日7.5時間の実習を4日間実施することを原則とするが、インターンシップ先の実情等に応じて実施する。
- ・ 事後指導においては、インターンシップ先での取組をふりかえり、まとめを行う。ふりかえり、まとめはインターンシップ先へフィードバックする。
- ・ 事前事後学修は原則として30時間実施する。
- ・ 「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ・Ⅱ」及び「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ・Ⅱ」のテキストを使用する。
- ・ その他インターンシップ、協議等に有用な参考資料、文献等はその都度提示する。

(評価方法)

インターンシップ先実習指導員（メンター）による成績評価と大学指導教員の評価を合わせ、最終的には大学指導教員が、SからFの5段階で総合的に評価する。

S(90点～100点)、A(80点～89点)、B(70点～79点)、C(60点～69点)、F(59点以下)とし、SからCまでを合格、Fを不合格とする。

教育政策トップリーダーインターンシップⅣ（他自治体）

(実習目的)

他自治体において、共通基礎科目並びに専門科目で学修した事項を受講生のキャリアに応じ、実地で検証し、教育政策トップリーダーとしての力量を高める。

(実習内容・指導計画・体制)

- ・ インターンシップ先及びインターンシップの時期・内容は受講者のキャリアや関心に応じて、オリエンテーション時に相談し決定する。
- ・ 事前指導においては、インターンシップⅡ・Ⅲでの教育政策上の課題を整理する。また、訪問先の組織や教育大綱・計画や施策などについて情報収集を行い、教育政策上の課題を整理するとともに、インターンシップ課題を設定する。
- ・ インターンシップにおいては、実習課題をもとに行政実務に当たり、「マネジメント特論」または「リーダーシップ特論」で学修した実践的応用力をもとに、施策や事業等の改善に取り組む。
- ・ 週4日（1日7.5時間）の実習を3週間実施することを原則とするが、インターンシップ先の実情等に応じて実施する。
- ・ 事後指導においては、インターンシップ先での取組をふりかえり、まとめを行う。ふりかえり、まとめはインターンシップ先へフィードバックする。

- ・ 事前事後学修は原則として 30 時間実施する。
- ・ 「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ・Ⅱ」及び「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ・Ⅱ」のテキストを使用する。
- ・ その他インターンシップ、協議等に有用な参考資料、文献等はその都度提示する。

(評価方法)

インターンシップ先実習指導員（メンター）による成績評価と大学指導教員の評価を合わせ、最終的には大学指導教員が、SからFの5段階で総合的に評価する。

S (90点～100点), A (80点～89点), B (70点～79点), C (60点～69点), F (59点以下)とし、SからCまでを合格、Fを不合格とする。

教育政策トップリーダーインターンシップⅤ（自自治体等発展）

(実習目的)

院生の所属する自治体（行政・教育機関）組織等において、1年次に履修した科目、特に「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ・Ⅱ」または「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ・Ⅱ」の学習効果の実証実習を行う。対課題行動「マネジメント」と対人行動「リーダーシップ」について、自自治体組織内で研修を計画し、実施する。「対課題行動」と「対人行動」の視点から、トップリーダーの行動に注目し、研修の実践が、現在進行中の施策の課題解決にどのように作用しているかを検証するとともに、自己の教育政策課題研究の遂行も併せて行う。

(実習内容・指導計画・体制)

- ・ インターンシップ先及びインターンシップの時期・内容は受講者のキャリアや関心に
 応じて、オリエンテーション時に相談し決定する。
- ・ 週3日（1日7.5時間）の実習を2週間実施することを原則とするが、インターンシ
 ュップ先の実情等に応じて実施する。
- ・ 各週の大まかな実習内容は、以下のとおりである。

【第1週】

- オリエンテーション
- 研修の計画と実施（テキストを用いて演習）
- トップリーダーの行動観察・聴き取り

【第2週】

- 第1週目の協議、討論、熟議等を実施
- 研修の実施
- トップリーダーの行動観察・聴き取り
- 振り返り研修の実施

- ・事前事後学修は原則として 15 時間実施する。
- ・事前事後学修の大まかな内容は、以下のとおりである。

【事前事後学修】

- 自自治体における「マネジメント」及び「リーダーシップ」に関する課題や問題点を洗い出す。
 - 先行研究論文の検索等を行い、インターンシップの充実を図る。
 - 自己の研究の進化が図られるようにするとともに、自己の行動の変容を目指し実習を充実させる。
-
- ・「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ・Ⅱ」及び「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ・Ⅱ」のテキストを使用する。
 - ・その他インターンシップ、協議等に有用な参考資料、文献等はその都度提示する。
 - ・本実習科目は教育政策トップリーダーインターンシップⅡ・Ⅲの単位を取得した者に限る。

(評価方法)

インターンシップ先実習指導員（メンター）による成績評価と大学指導教員の評価を合わせ、最終的には大学指導教員が、SからFの5段階で総合的に評価する。

S (90点～100点), A (80点～89点), B (70点～79点), C (60点～69点), F (59点以下)とし、SからCまでを合格、Fを不合格とする。

5 その他

(実習資料の様式)

(1) 実習の個別計画表

- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅠ 実習計画書・・・・・・・・様式1－Ⅰ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅡ 実習計画書・・・・・・・・様式1－Ⅱ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅢ 実習計画書・・・・・・・・様式1－Ⅲ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅣ 実習計画書・・・・・・・・様式1－Ⅳ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅤ 実習計画書・・・・・・・・様式1－Ⅴ

(2) 実習日誌

- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅠ 実習日誌・・・・・・・・様式2－Ⅰ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅡ 実習日誌・・・・・・・・様式2－Ⅱ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅢ 実習日誌・・・・・・・・様式2－Ⅲ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅣ 実習日誌・・・・・・・・様式2－Ⅳ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅤ 実習日誌・・・・・・・・様式2－Ⅴ

(3) 実習評価票

- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅠ 評価票・・・・・・・・様式3－Ⅰ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅡ 評価票・・・・・・・・様式3－Ⅱ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅢ 評価票・・・・・・・・様式3－Ⅲ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅣ 評価票・・・・・・・・様式3－Ⅳ
- ・教育行政トップリーダーインターンシップⅤ 評価票・・・・・・・・様式3－Ⅴ

教育行政トップリーダーインターンシップ I 実習計画書

教育政策リーダーコース

大学院生氏名		学籍番号	
大学院生連絡先			
インターンシップ期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
インターンシップ先 機関名			
大学指導教員	連絡先：		
訪問国（インターンシ ップ先機関）の教育政 策上の課題			
自身のインターンシッ プ課題			
調 査 の 実 施 計 画	第 1 日 (月 日)		
	第 2 日 (月 日)		
	第 3 日 (月 日)		
	第 4 日 (月 日)		
	第 5 日 (月 日)		
	第 6 日 (月 日)		
	第 7 日 (月 日)		
	第 8 日 (月 日)		

教育行政トップリーダーインターンシップⅡ 実習計画書

教育政策リーダーコース

大学院生氏名		学籍番号	
大学院生連絡先			
インターンシップ期間		年 月 日 ~	年 月 日
インターンシップ先 機関名 (住所・電話)		〒	TEL
インターンシップ先 実習指導員 (メンター)		連絡先 :	
大学指導教員		連絡先 :	
インターンシップ先機関の概要	組織, 教育大綱, 計画, 施策等		
インターンシップ先機関の教育政策上の課題			
自身のインターンシップ課題 (特論で学修した実践的応用力を踏まえること)			
インターンシップの実施計画	第1日 (月 日)		
	第2日 (月 日)		
	第3日 (月 日)		
	第4日 (月 日)		

教育行政トップリーダーインターンシップⅢ 実習計画書

教育政策リーダーコース

大学院生氏名		学籍番号
大学院生連絡先		
インターンシップ期間		年 月 日 ~ 年 月 日
インターンシップ先 機関名 (住所・電話)		〒 TEL
インターンシップ先 実習指導員 (メンター)		連絡先：
大学指導教員		連絡先：
インター ンシップ 先機関の 概要	学校教育目 標, 重点事項, 特性や実態等	
インターンシップ先機関 の教育政策上の課題		
自身のインターンシップ 課題 (特論で学修した実践的 応用力を踏まえること)		
インター ンシップ の実施計 画	第 1 日 (月 日)	
	第 2 日 (月 日)	
	第 3 日 (月 日)	
	第 4 日 (月 日)	

教育行政トップリーダーインターンシップⅣ 実習計画書

教育政策リーダーコース

大学院生氏名		学籍番号	
大学院生連絡先			
インターンシップ期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
インターンシップ先 機関名 (住所・電話)	〒 TEL		
インターンシップ先 実習指導員 (メンター)	連絡先 :		
大学指導教員	連絡先 :		
インター ンシップ 先機関の 概要	組織, 教育大綱, 計画, 施策等		
インターンシップⅡ・Ⅲ での自治体の教育政策 上の課題			
インターンシップ先機関 の教育政策上の課題			

<p>自身のインターンシップ 課題 (特論で学修した実践的 応用力を踏まえること)</p>		
<p>インター ンシップ の実施計 画</p>	<p>第1日 (月 日)</p>	
	<p>第2日 (月 日)</p>	
	<p>第3日 (月 日)</p>	
	<p>第4日 (月 日)</p>	
	<p>第5日 (月 日)</p>	
	<p>第6日 (月 日)</p>	
	<p>第7日 (月 日)</p>	
	<p>第8日 (月 日)</p>	
	<p>第9日 (月 日)</p>	
	<p>第10日 (月 日)</p>	
	<p>第11日 (月 日)</p>	
	<p>第12日 (月 日)</p>	

教育行政トップリーダーインターンシップV 実習計画書

教育政策リーダーコース

大学院生氏名		学籍番号	
大学院生連絡先			
インターンシップ期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
インターンシップ先 機関名 (住所・電話)	〒 TEL		
インターンシップ先 実習指導員 (メンター)	連絡先:		
大学指導教員	連絡先:		
自自治体組織内での研修 計画(対課題行動「マネジ メント」と対人行動「リー ダーシップ」のいずれか の学修を踏まえること)			
インター ンシップ の実施計 画	第1日 (月 日)		
	第2日 (月 日)		
	第3日 (月 日)		
	第4日 (月 日)		
	第5日 (月 日)		
	第6日 (月 日)		

教育行政トップリーダーインターンシップ I 実習日誌

教育政策リーダーコース

氏名 ()

日 付	年 月 日 ()			
本日の目標				
本日の主な内容				
出勤時から 退勤時までの経過の記述	時刻	活動内容	時刻	活動内容
	:		:	
調査結果等				
特記事項 (気づきや感想など)				

教育行政トップリーダーインターンシップⅡ 実習日誌

教育政策リーダーコース

氏名 ()

日付	年 月 日 ()			
本日の目標				
本日の主な内容				
出勤時から退勤時までの経過の記述	時刻	活動内容	時刻	活動内容
	:		:	
メンターからの指導内容				
特記事項 (気付きや感想、大学指導教員からの指導内容など)				

教育行政トップリーダーインターンシップⅢ 実習日誌

教育政策リーダーコース

氏名 ()

日付	年 月 日 ()			
本日の目標				
本日の主な内容				
出勤時から 退勤時までの経過の記述	時刻	活動内容	時刻	活動内容
	:		:	
メンターからの指導内容				
特記事項 (気付きや感想、大学指導教員からの指導内容など)				

教育行政トップリーダーインターンシップⅣ 実習日誌

教育政策リーダーコース

氏名 ()

日 付	年 月 日 ()			
本日の目標				
本日の主な内容				
出勤時から 退勤時までの経過の記述	時刻	活動内容	時刻	活動内容
	:		:	
メンターからの指導内容				
特記事項 (気付きや感想、大学指導教員からの指導内容など)				

教育行政トップリーダーインターンシップV 実習日誌

教育政策リーダーコース

氏名 ()

日付	年 月 日 ()			
本日の目標				
本日の主な内容				
出勤時から退勤時までの経過の記述	時刻	活動内容	時刻	活動内容
	:		:	
トップリーダーの行動観察				
メンターからの指導内容				
特記事項 (気付きや感想、大学指導教員からの指導内容など)				

教育行政トップリーダーインターンシップ I 評価票

兵庫教育大学大学院
教育政策リーダーコース

学籍番号 _____

氏 名 _____

	評 価 項 目	満点	大学指 導教員
1	インターンシップの活動状況 (出席や態度)	10	/10
2	実習計画	10	/10
3	実習日誌	10	/10
4	インターンシップ課題の達成状況	10	/10
5	事前事後学修の状況	10	/10

総合評価点

--

年 月 日

大学指導教員 _____ 印

(S : 100~90点, A : 89~80点, B : 79~70点, C : 69~60点, F : 59点以下)

教育行政トップリーダーインターンシップⅡ 評価票

兵庫教育大学大学院
教育政策リーダーコース

学籍番号 _____

氏 名 _____

太枠内のみ実習校で記載をお願いします。

	評 価 項 目	満点	インターンシップ 先実習指導員	※大学指導教員
1	インターンシップの活動状況 (出席や態度)	10	/10	/10
2	実習計画	10	/10	/10
3	実習日誌	10	/10	/10
4	インターンシップ先機関への貢献	10	/10	/10
5	事前事後学修の状況	10		/10

年 月 日

インターンシップ先機関名：

インターンシップ先実習指導員 _____ 印

総合評価点※

--

インターンシップ先機関の長 _____ 印

年 月 日※

大学指導教員※ _____ 印

(S : 100~90点, A : 89~80点, B : 79~70点, C : 69~60点, F : 59点以下)

※印は大学使用欄です。

教育行政トップリーダーインターンシップⅢ 評価票

兵庫教育大学大学院
教育政策リーダーコース

学籍番号 _____

氏 名 _____

太枠内のみ実習校で記載をお願いします。

	評 価 項 目	満点	インターンシップ 先実習指導員	※大学指導教員
1	インターンシップの活動状況 (出席や態度)	10	/10	/10
2	実習計画	10	/10	/10
3	実習日誌	10	/10	/10
4	インターンシップ先への貢献	10	/10	/10
5	事前事後学修の状況	10	/	/10

年 月 日

インターンシップ先機関名：

インターンシップ先実習指導員 _____ 印

総合評価点※

インターンシップ先機関の長 _____ 印

年 月 日※

大学指導教員※ _____ 印

(S : 100~90点, A : 89~80点, B : 79~70点, C : 69~60点, F : 59点以下)

※印は大学使用欄です。

教育行政トップリーダーインターンシップⅣ 評価票

兵庫教育大学大学院
教育政策リーダーコース

学籍番号 _____

氏 名 _____

太枠内のみ実習校で記載をお願いします。

	評 価 項 目	満点	インターンシップ 先実習指導員	※大学指導教員
1	インターンシップの活動状況 (出席や態度)	10	/10	/10
2	実習計画	10	/10	/10
3	実習日誌	10	/10	/10
4	インターンシップ先機関への貢献	10	/10	/10
5	事前事後学修の状況	10	/	/10

年 月 日

インターンシップ先機関名：

インターンシップ先実習指導員 _____ 印

総合評価点※

インターンシップ先機関の長 _____ 印

年 月 日※

大学指導教員※ _____ 印

(S : 100~90点, A : 89~80点, B : 79~70点, C : 69~60点, F : 59点以下)

※印は大学使用欄です。

教育行政トップリーダーインターンシップV 評価票

兵庫教育大学大学院
教育政策リーダーコース

学籍番号 _____

氏 名 _____

太枠内のみ実習校で記載をお願いします。

	評 価 項 目	満点	インターンシップ 先実習指導員	※大学指導教員
1	インターンシップの活動状況 (出席や態度)	10	/10	/10
2	実習計画	10	/10	/10
3	実習日誌	10	/10	/10
4	インターンシップ先機関への貢献	10	/10	/10
5	事前事後学修の状況, 研修の実践と 教育政策課題研究の遂行との関係	10	/	/10

年 月 日

インターンシップ先機関名 :

インターンシップ先実習指導員 _____ 印

総合評価点※

インターンシップ先機関の長 _____ 印

年 月 日※

大学指導教員※ _____ 印

(S : 100~90点, A : 89~80点, B : 79~70点, C : 69~60点, F : 59点以下)

※印は大学使用欄です。

教育政策リーダーコースにおけるカリキュラム配置モデル

年次	科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目（4科目，8単位）						共通基礎科目（3科目，6単位）					
	専門科目	専門科目（4科目，8単位）						専門科目（4科目，8単位）					
	専門科目	専門科目（「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ，2単位）						専門科目（「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅱ，2単位）					
	専門科目	専門科目（「教育政策課題研究」，8単位（通年2年間））											
	実習科目												実習科目 ※Ⅰ
		※Ⅰ「教育政策トップリーダーインターンシップⅠ（海外教育行政機関）」，2単位 実習1W（30H），事前事後学修30H											
2年次	専門科目	専門科目（「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ，2単位）						専門科目（「教育行政マネジメント特論演習Ⅱ，2単位）					
	専門科目	専門科目（「教育政策課題研究」，8単位（通年2年間））											
	実習科目	実習科目 ※Ⅱ		実習科目 ※Ⅲ		実習科目 ※Ⅳ				実習科目 ※Ⅴ			
		※Ⅱ「教育政策トップリーダーインターンシップⅡ（自自治体行政機関）」，2単位 実習1W（30H），事前事後学修30H ※Ⅲ「教育政策トップリーダーインターンシップⅢ（自自治体教育機関）」，2単位 実習1W（30H），事前事後学修30H ※Ⅳ「教育政策トップリーダーインターンシップⅣ（他自治体）」，4単位 実習3W（90H），事前事後学修30H ※Ⅴ「教育政策トップリーダーインターンシップⅤ（自自治体等発展）」，2単位 実習2W（45H），事前事後学修15H											

※上記実習科目の実施時期はモデルとして示したものであり，実際はインターンシップ先の実情等を踏まえ通年の中で実施する
 ※実習科目について実習単位の修得免除を認定された場合には，単位を修得したものとみなされる